

吉野梅郷 梅まつり

～梅の里、花さきほこる吉野の春～

問 シティプロモーション課観光係
2月15日(土)
～
3月20日(祝)

※ 観梅市民まつり

日時 3月2日(日) 午前10時～午後4時
※11時交通規制開始
場所 神代橋通り(警察・消防パレード、お囃子、武者行列・寸劇、青梅太鼓、吉野音頭、獅子舞、青梅市民舞踊、高円寺阿波おどり、日本航空学園石川(ダンス))



※ 青梅市観光協会ガイドツアー 梅香る秩父鎌倉街道と季節のごはん

日時 3月11日(火)(要予約) 午前9時～午後1時30分
行程 JR軍畑駅(集合)→奥沢橋梁→愛宕神社→岩割の梅跡→梅の公園→【昼食】「HIBACHIYA」
参加費 4,000円(昼食、保険代)
定員 先着15人(予約制)
申し込み (一社)市観光協会ホームページ(2次元コード)の専用メールフォームから



※ 吉野梅郷商店会スタンプラリー

加盟各店を巡りスタンプを集めて素敵な景品をプレゼント!

日程 2月15日(土)～3月23日(日)
場所 各加盟店

※ 吉野梅郷商店会梅まつり大抽選会

日時 3月9日(日)、16日(日) 午後2時～3時(荒天中止)
場所 梅の公園

※ 大道芸

日程 3月9日(日)
場所 梅の公園

※ 南京玉すだれ

日程 3月9日(日)
場所 梅の公園

※ 青梅グルメマルシェ 青梅の各店自慢の味が大集合

日時 2月22日(土)～24日(振休)
午前10時～午後3時(荒天中止)
場所 梅の公園

※ 東京地酒まつり 東京の全9蔵の銘酒を飲み比べ

日時 3月7日(金)～9日(日)
午前10時～午後3時(荒天中止)
場所 梅の公園



※ 吉野梅郷うめ酒まつり 全国梅の名所の梅酒を集めました

日時 2月28日(金)～3月2日(日)
午前10時～午後3時(荒天中止)
場所 梅の公園



※ 梅郷スイーツフェスタ

日時 3月16日(日) 午前10時～午後3時(荒天中止)
場所 梅の公園

※ 幾代会ガイドツアー

吉川英治と旧吉野村のご馳走を味わい、フキノトウ摘みも!

日時 3月8日(土)、15日(土)(要予約)
午前10時10分～午後3時(荒天中止)
参加費 4,000円(昼食、入館料、お土産、保険代)
定員 先着20人(最少催行人数10人)
申し込み 専用フォーム(2次元コード)から幾代会へ



※ 梅の公園ガイドボランティア

日時 3月1日(土)、8日(土)、9日(日)、15日(土)、16日(日)
午前10時～午後3時
場所 梅の公園

※その他各種イベントも開催予定。イベント情報等は、(一社)市観光協会ホームページにてご確認ください。



青梅市の文化遺産98

有栖川宮幟仁親王御染筆「御嶽神社」社号額

市文化財保護指導員 黒田 耕

市内御岳山山頂に鎮座する武蔵御嶽神社の拝殿内には、有栖川宮第八代幟仁親王の揮毫による社号額が掲げられています。有栖川宮家では家学として書道と歌道が定められていました。特に書道は霊元天皇の伝授に始まり、秘伝の文書が御伝授箱により代々伝えられ、「有栖川流」と尊称されました。幟仁親王は明治天皇の書道師範を務め、勅命により「五箇条の御誓文」の正本を御染筆されました。

神社の宝物殿には表に社号、裏書に「明治十五歳四月二十七日一品幟仁親王」と染筆された軸装が収蔵されており、親王の晩年の御染筆であることが窺えます。

神社が収蔵する「幟仁親王御日記」明治15(1882)年3月27日の条には、八王子本町の和田義質なる人物が願い出ており、親王が「右願ノ趣上申ノ處御聞済」とされた記述があります。和田は尊王敬神の情厚い人物で、教導職を務めていたことから御岳山との関係性ができたものと想像されます。4か月後の7月には和田が参殿し額を受領する記述があり、御札として焼鮎一包を献上したことが残されています。

明治維新时期、社会の在り方が大きく変容する中、有栖川御流は数百年変わらぬ書道を伝えていました。書は文字と共に「心」を伝えます。幟仁親王の御染筆は、変革の中にあっても御岳山が「神の山」であることを伝えていきます。



問 郷土博物館 ☎ 23-6859 「御嶽神社」社号額

講談師 菊地玉雲の講談の世界

一小泉八雲の不朽の名作を語る『『耳なし芳一』三月の海に亡んだ平家への鎮魂』を講談により披露します。

日時 3月16日(日)
午後2時～2時30分

会場 吉川英治記念館主屋
出演者 講談師 菊地玉雲氏
定員 先着30人(予約制)

申し込み
電話 ☎ 74-9477
で同館へ
※要別途入館料

